令和　　年　　月　　日

稲敷市長　筧　信太郎　殿

申請人　住所

氏名

電話

**公共用財産の用途廃止申請書**

下記の財産は，公共の用に供する必要がなくなったと認められますので，用途廃止の手続きを願いたく，関係書類を添えて申請いたします。

記

１．用途を廃止しようとする財産

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 公図対照番号 | 財産の種類 | 現況地目 | 所在地 | 面積（㎡） | 備　考 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

２．用途を廃止しようとする理由

３．用途廃止後の処分方法

４．その他参考となるべき事項

　（１）申請財産の現況と用途廃止に伴う影響及びその対策

　（２）土地登記簿謄本（申請財産及び隣接地）

　（３）利害関係者（土地改良区等）の意見書

　（４）隣接土地所有者の同意書

５．添付図面

　（１）位置図

　（２）公図写

　（３）実測図

　（４）その他市長が必要と認める関係図書（現況写真等）

※記入方法

１　公図対象番号は，添付した公図写と対照できるよう公図写に記入した整理番号を記載すること。

２　財産の種類は，道路・水路等の別を記入し現況種目は，現在利用されている用途を記載すること。

３　所在地は，道水路等の登記がされていない財産については，起点・終点の隣接地地番を記入すること。

４　公図写で，小字が多数の場合は，別途字ごとの隣接状況が判別できるような図面を添付し，道は赤色・水路は青色で着色し，流水の方向を矢印で標示すること。

公図写は，転写場所，転写期日を余白に記入し原本と相違ない旨を確認した者の職氏名と押印を行うこと。

５　実測図は，登記にも利用できるものが望ましく，余白又は所定の欄に作成期日・作成者の住所（職）氏名を記入し押印すること。

６　申請書の提出部数は，原則として正副２部とする。